

本別紙資料は、関東総合通信局と東京都公立大学法人との共作です。

◆ 東京都立大学ローカル 5 G 事業の目的

東京都立大学は、東京都が令和元年 12 月に策定した『未来の東京』戦略ビジョン』の取組の一環として、ローカル 5 G を活用した以下の事業を実施しています。今後、ローカル 5 G 環境を活用した研究や実証実験の成果を社会に還元していくとともに、行政機関や民間企業等との産学公連携を通じて、東京都が掲げる「スマート東京」の推進に繋げていきます。



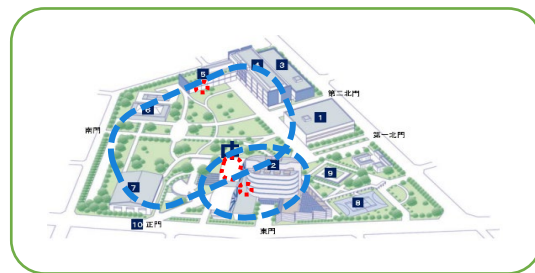
◆ 東京都立大学キャンパス内ローカル 5 G 環境の概要

東京都立大学は、南大沢キャンパスと日野キャンパス（合計 49 万㎡）の広範囲を、4.7GHz 帯と 28GHz 帯の特性を組み合わせる効率的にカバーする日本最大規模（基地局数 18 局）のローカル 5 G 環境を構築しました。

* 南大沢キャンパス



* 日野キャンパス



【凡例】

電波カバーエリア
4.7GHz帯

電波カバーエリア
28GHz帯

◆ 東京都立大学ローカル 5 G 環境を活用した最先端研究等の推進

東京都立大学は、ローカル 5 G 環境を活用した最先端研究を令和 3 年 1 月から推進しています。

- ・「社会実装型研究」… 新たなライフスタイルの提案や社会的・公共的価値の創造を通じて都民生活の質の向上をもたらすなど、Society 5.0 の実現につながる応用的研究であって、社会実装が期待される研究
- ・「挑戦型研究」… 企業が手を出しにくい将来の課題解決に資するチャレンジングな基礎的研究であって、科学技術の発展や変革をもたらすイノベーションの核となり得る研究

今後、5 G を活用した新たな製品・サービスの実証実験フィールドとして、ローカル 5 G 環境を企業等にも提供していく予定です。